

(3) 県負担・補助率の考え方

国 10/10 (新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	7,137	MC 医師による入院調整業務を委託
合計	7,137	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・新型コロナウイルス感染症対策 新たな波に備えて
医療提供体制の強化 「非常時入院調整システム」の構築

(2) 国・他県の状況

- ・新型コロナウイルスに係る入院調整をMC 医師が行っている事例は、他県にはないが、DMAT 医師を専任している県がある。

(3) 後年度の財政負担

- ・新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて今後も財政負担が必要。

(4) 事業主体及びその妥当性

- ・病床ひっ迫時の入院調整は、県が一括で行うことが必要。

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 病床がひっ迫し、本来入院すべき患者が入院できない状況となった場合にMC医師が入院調整を行うシステムをあらかじめ構築することで、感染拡大に備える。また、非常時に本システムを運用することで、患者の適切な振り分けを行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
						%
①						%
②						%

○指標を設定することができない場合の理由

新型コロナウイルスの感染状況によって行われる事業であるため、指標を設定することは適さないため。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>新型コロナウイルス感染症第5波では、感染者の急増で宿泊療養施設がひっ迫し、自宅療養者の発生を余儀なくされた。今後再度感染拡大が想定され、本事業により医療提供体制強化を図る必要がある。</p>
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価)	/
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価)	/

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 新型コロナウイルス感染症の感染が収束するまでは、事業を継続する必要がある。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	